

東南海大地震の記
震源地熊野灘海底規模(M)8.3

昭和19年12月7日午後1時35分大地震あり、津波おしよせ、死者行方不明16名流失倒壊家屋151戸、浸水家屋は遊木地こどもに百数十戸におよび、その他田畑崩壊多数あり。

昭和56年9月1日(防災の日)
熊野市

熊野市新鹿町の国道311号里川橋脇にある「東南海大地震の記」の碑の拡大写真。1944年東南海地震の際に、この地を襲った津波や被害の様相が記されている。



熊野市新鹿町の国道311号里川橋脇にある「東南海大地震の記」の碑の全景。